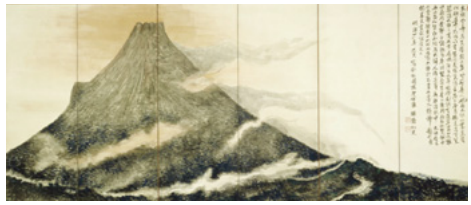
MONTHLY NEWS
京都画廊連合会ニュース
THE KYOTO GALLERIES FEDERATION OF ARTS
2024 4月号
No.－588

没後100年 富岡鉄斎展

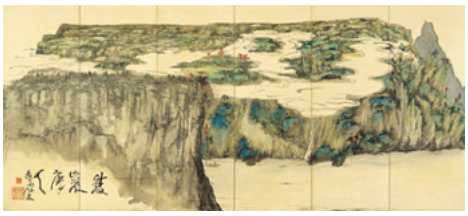
と　き／４月２日(火)～５月26日(日) 10：00AM～６：00PM
ところ／京都国立近代美術館（4/29、5/6以外の月曜と4/30、5/7休館）
京都市左京区岡崎公園内　☎075-761-4111

世に「最後の文人画家」と称えられる富岡鉄斎（1836-1924）。幕末、京都の商家に生まれ、近世都市の商人道徳を説いた石門心学を中心に儒学・陽明学、国学・神道、仏教等の諸学を広く学びながら、南宗画、やまと絵等をはじめ多様な流派の絵画も独学し、深い学識に裏付けられた豊かな画業を展開した。良い絵を描くためには「万巻の書を読み、万里の路を行く」ことが必要という先人の教えを徹底して守ろうと、何を描くにもまずは対象の研究に努めるのだと北海道から鹿児島まで全国各地の勝景地を旅した。その後、胸中に思い描かれた理想の山水の表出に努めた。そうした人間の理想を説いた鉄斎の絵画は、画壇の巨匠たちから敬われ、京・大阪の町の人々に広く親しまれただけではなく、むしろ新世代の青年画家たちからもその表現の自由闊達で大胆な新しさで注目され、生前から今日まで国内外で高く評価されてきている。

幕末に人格を形成して明治初期には神官として古跡の調査と復興に尽力し、やがて官を辞して市井の画家として生き、1924（大正13）年の大晦日に数え年89で亡くなった鉄斎は、本年末で没後100年を迎えることになる。この記念のときに向け、本展でその彼の画業と生涯をあらためて回顧することになった。これまで名作として繰り返し取り上げられてきた作品はもちろん、名作として知られながらも過去の名作展では目にする機会の乏しかった作品や、近年になって再発見され、あるいは新たに見出された作品なども展観されている。また、京都御所近く、室町通一条下ルに邸宅を構えていた書斎（画室）を彩っていた文房具や筆録（旅行記や研究用メモ）等も取り上げ、都市に生きた鉄斎の日常も垣間見ることができる。文人画というと、何か難しい世界のように思われがちだが、鉄斎の生きた時代にはむしろ縁起物として都市の商人たちの間で親しまれていたともいわれる。京都では27年振りの開催となる展覧会が、鉄斎により親しんでいただく機会ともなれば幸いだ。



《富士山図》1898（明治31）年（第１～２期展示）清荒神清澄寺 鉄斎美術館蔵



《妙義山図・瀞八丁図》1906（明治39）年（第３～４期展示）布施美術館蔵

会場	日曜	1月 2火 3水 4木 5金 6土 7(日) 8月 9火 10水 11木 12金 13土 14(日) 15月 16火 17水 18木 19金 20土 21(日) 22月 23火 24水 25木 26金 27土 28(日) 29(月) 30火 5/1水	
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	雛人形名品展 / 紫式部と『源氏物語』 / 三國幽眠－勤王漢学者と京都	→6/2
	3F 4F	コスチュームジュエリー 美の変革者たち　シャネル、ディオール、スキャパレッリ 小瀧千佐子コレクションより / 松尾大社展 みやこの西の守護神	→6/23
	5F	'24 写人展 / 百花繚亂 其の壱 / 能の扇の世界 ～華麗で繊細な江戸時代の中啓を復元～ / 第50回 京都春季創画展 / 第48回 日本画春季光玄展 / 第32回 祐門会 京都能面展 / 第36回 風會展 能面・狂言面	
	6F	音楽会 / 華道遠州いけばな展	
	別館	音楽会 / 音楽会 / 音楽会 / KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭2024 クラウディア・アンドゥハル「ヤノマミ」	→5/12
京都学・歴彩館 左京区下鴨半木町1-29 723-4831		府大生による…探検！発見！歴彩館－コラボで探る京都学－(10) 〈4月29日(月)休館〉	→5/7

会場		1月	2火	3水	4木	5金	6土	7日	8月	9火	10水	11木	12金	13土	14日	15月	16火	17水	18木	19金	20土	21日	22月	23火	24水	25木	26金	27土	28日	29月	30火	5/1水	
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111	3F		没後100年　富岡鉄斎																														→5/26
	4F	2024年度 第1回コレクション展																															→5/26
京都国立博物館 東山区東大路七条西　541-1151															特別展　雪舟伝説　－「画聖（カリスマ）」の誕生－																		→5/26
京都市 京セラ美術館 左京区岡崎公園内 771-4334	コレクションルーム																																
	本館	パリ ポンピドゥーセンター　ピカソ、ブラックからドローネー、シャガールへ																															→7/7
	本館														金曜ロードショーとジブリ展																		→6/29
	本館														KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2024																		→5/12
	東山キューブ	京都市美術館開館90周年記念展　村上隆 もののけ 京都																															→9/1
	別館 1F			第65回 京都写真連盟写真展						公募第3回 大潮友彩展							第47回 日本染織作家展						京楽文化サロンと 仲間たち展						第16回 京都写真倶楽部連盟展		→5/5
	別館 2F				新境－中国絵画 名作京都展						呉泉棠世界巡回展 －京都展							京都二紀展					関西二科展							APA アワード 2024関西展		→5/5
京都府立 文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	1F									染(そめ)・織(おり)・ 繍(ぬい)・組(くみ)・ 展 (染織)							自由美術京都作家展 (美総合)						第55回新協美術京都展 (美総合)									
	2F																							第56回墨人関西展 (書)									
	3F																																
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26　463-0007		特別企画展　渡辺信喜　四季の譜　京都府立堂本印象美術館　現代作家展 同時開催　第7回野外彫刻展																															→5/17
企 何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側　525-1311		時代の証言者MARC RIBOUD展（月曜休館、但し4/29、5/6は開館）																															→5/26
企 髙島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊	菅原さちよ展		石踊紘一　素描展						第53回日本伝統工芸 近畿展 開催記念 わざの美・現在展							一色直彦　日本画展 ～宙と時の音～						襲名記念　十四世 坂髙麗左衛門展									
	画廊	西中千人ガラス展		工芸・その先へ －Kogei Ahead－													丹波　仲岡信人　陶展																
	アートサロン	茶名付記念陶展 神崎奏宣		山口直人　陶展						日本工芸会近畿支部 所属作家による SAKEの器展							－空想旅行記－ 三島寛也　陶展						伊藤順康　作陶展									
	グランドホール																																
企 大丸 中京区四条高倉 211-8111	画廊	アントワーヌ・アンリ展		建築家白井晟一の書						草木鳥獣伝 西野陽一　日本画展							古稀記念 九世　吉向松月作陶展 「自然への思い」						－光輝瑞兆－ 加来万周　日本画展									
	アートサロン	大塚麻理恵作品展		マエストロ貴古　作陶展 ～新世界への招待状～						松崎勝美　石の想守展							中尾知花子　油彩画展						松尾彩加・黒沼大泰 洋画展　～春の花籠～									
	ミュージアム	『その着せ替え人形は恋をする』																									隙あらば猫 町田尚子絵本原画展						→5/6
企 中信美術館 上京区下立売油小路東入　417-2323										京都中央信用金庫所蔵品展　万彩の息吹 〈月曜日、5月3日(金)～5日(日)休館〉																						→5/17
企 並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東　752-3277																																	
企 泉屋博古館 左京区鹿ヶ谷宮ノ前町24　771-6411		改修工事のため、2025年春まで休館いたします。																															
会場		1月	2火	3水	4木	5金	6土	7日	8月	9火	10水	11木	12金	13土	14日	15月	16火	17水	18木	19金	20土	21日	22月	23火	24水	25木	26金	27土	28日	29月	30火	5/1水	
企 芦屋画廊KYOTO 左京区頭町357-8　754-8556		常設展																															
貸 企 アートギャラリー博宝堂 左京区岡崎神宮道東側　771-9401			逸見亜古 銅版画展 ～めぐる季節 めぐる時～																					立体書道の魅力 －虹赤・虹心 二人展－							ダニエル ケリー展		→5/12
貸 企 アートギャラリー鵬休堂 東山区東山五条上ル西入ル　541-3805		常設展																															
貸 アートスペース柚（ゆう） 東山区二条通東山西入　090-6916-5353							上仲竜太「洞窟壁画展」 （月曜休廊）														INOUEKE Exhibition 2024 ～植物と共に～（月曜休廊）											
貸 企 アートスポット櫻奏 東山区八坂通大和大路東入南入　090-3945-7492		貸画廊受付中																															
企 Art Space 癒心庵 長岡京市今里畔町24-8　951-2788		浮世絵展 開館日：毎週火曜・金曜（祝日は休館・完全予約制：午前・午後各一組4名まで）																															
貸 企 綾小路ギャラリー武 下京区綾小路高倉東入ル　351-4787										一 初め							こじまゆういち展							ella ～エラ゛～ ×Room Ycina POP UP SHOP						二人展 ～油絵と色えんぴつ～		→5/5
貸 芸艸堂画廊 中京区寺町二条下ル　231-3613		木版画常設展（貸画廊受付中）																															

企：企画および常設を中心に活動する画廊　貸：貸画廊

日本画・油絵・銅版画・木彫の鳥
「池田三郎の世界」展

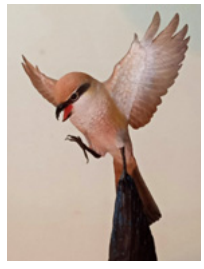
と　き／４月４日(木)～４月７日(日) 11：30AM～６：00PM
ところ／ギャラリー吉象堂
京都市中京区三条通柳馬場東入中之町11　☎075-221-3955

人生長いようでそんなに長くない。
若い頃からもの作りをしてきた。
時には熱中し、時には自信をなくし、暫く休止してまた始める。
いつも何かを作っていたい衝動にかられ、作品の数も増えていった。
ここらで一度振り返ってみようと、作ったものを一堂に並べてみた。
駄作や集中力が欠けた作品もあるが、制作中の想いがまざまざと甦ってくる。
作品は私の生きた人生の記録であり生き様であります。
ご高覧下さるみなさまにとっては迷惑かもしれないが、これが私の世界であります。

日本画「車窓」

池田三郎略歴
京都市立美術大学（現京都市立芸術大学）日本画科卒
上村松篁、秋野不矩、石本正先生他に指導を受ける
【木彫の鳥（バードカービング）】
独学でバードカービングを学ぶ。
CFK展に例年出品
【銅版画】
前川秀治先生他に学ぶ。「遊展」に毎年出品
【雑誌、新聞】
平凡社、学研、青人社、ぎょうせい等に挿絵、朝日新聞社、京都リビング新聞社にイラスト掲載

銅版画
「Look back cat」


木彫「モズ」

日本画「流水」

特別企画展「渡辺信喜 四季の譜」
― 京都府立堂本印象美術館 現代作家展 ―

と　き／３月20日(水・祝)～５月17日(金) ９：30AM～５：00PM
ところ／堂本印象美術館（祝日以外の月曜と5/7休館）
京都市北区平野上柳町26-3　☎075-463-0007

芸術の発展に貢献する場として活用してほしいという堂本印象（1891-1975）の想いを受け継ぎ、「京都府立堂本印象美術館現代作家展」を開催します。１回目は、優美な色彩による花の絵の画家として知られ、現在、京都の日本画の重鎮として活躍する渡辺信喜（1941-）をとりあげます。

「春の小川」
（“うたの原風景”より）
2018（平成30）年　個人蔵

京都の仏画師の家に生まれた渡辺は、京都市立美術大学（現京都市立芸術大学）卒業後、京都画壇の山口華楊に師事します。自然との共生を大切にする京都ならではの風土を愛するとともに、師・華楊の薫陶を受け日本画材の持つ魅力を再認識し、優美な色彩に裏打ちされた独自の画境を拓きました。日展を舞台に活躍する傍ら、1984年には所属を越えた東西の日本画家たちによる「横の会」に参加して新しい日本画の在り方を目指して活動し、さらに解散後は、京都の日本画を活性させるため、横の会のメンバーらとともに「NEXT」を結成しました。こうした創作活動の一方で、京都精華大学で教鞭を執り後進の育成にも尽力しました。現在は日展理事、京都日本画家協会理事長をつとめています。

本展では、43歳の時に発表し日展特選を受賞した《林檎》をはじめ、横の会やNEXTの出品作の他、日展の内閣総理大臣賞受賞作《夏草》など代表作を展示します。清新で現代感覚に満ちた自然の美を表現する画家、渡辺信喜。その人柄を通して描出される草花には、京都人らしい気品が漂います。なお作家の視点や制作構想が窺える貴重なスケッチなども展示します。本展のために制作した「蓮池」も併せてお楽しみください。

「涼夕」1994（平成６）年
郷さくら美術館蔵

「雛罌」1994（平成６）年
郷さくら美術館蔵

「夏草」2015（平成27）年
郷さくら美術館蔵

「自由の洞窟」西村一成 新作展

と　き／４月５日(金)～４月21日(日) １：00PM～６：00PM
ところ／ギャルリー宮脇（月曜休廊）
京都市中京区寺町通二条上ル東側　☎075-231-2321

西村一成（いっせい、1978年生まれ、名古屋市在住）は、昨春にTV放映されたNHKドキュメンタリー番組「ETV特集 人知れず表現し続ける者たちⅣ」で、外界と隔たった秘密のアトリエで絵画を創作し続ける姿がはじめて世に伝えられた。

描くことと生きることとが不可分に結びついた独学孤高の画家の日常から、「アートとは何か」「人が生きるとは何か」を考えさせられるこの番組は、放送・映像の分野でも複数の受賞を果たして大きな注目を集め、今夏には映画になって劇場公開が予定されている。放映後の大きな反響にも動じず、自らの創作ペースを変えることもなく、絶え間なく押し寄せてくるリアクション＝クリエイションの波動を全身全霊で受け止め、西村一成は今日も秘密のアトリエに籠り、ただひたすら描き続けている。

「CAVE ROCK」2023年
ミクストメディア116.7×182cm

「片輪の恋」2023年
ミクストメディア
149×93cm

「コホーテク彗星のための
コンサート」2023年
ミクストメディア
91×72.7cm

感情→行為→物質のオブジェと化した西村の絵画は「生のままの芸術」の衝撃だ。本拠点であるギャルリー宮脇での２年ぶり11回目の個展。新作約40点発表。

（なお、４月13日～６月16日、愛知県・岡崎市美術博物館で開催される企画展「ひらいて、むすんで」に20余点が出品される。）

開廊10周年記念
自由と創造を求めたケラ美術の情熱展

と　き／４月10日(水)～４月21日(日) 11：30AM～６：30PM
ところ／ギャラリー Create洛（月曜日休廊）
京都市中京区丸太町通堺町通鍵屋町69　☎075-708-7898

本展は、ケラ美術協会を結成された先生とその影響を受け熱い志で制作を続けている先生方の作品を展示します。戦後の混沌とした状況の中から復興を目指した日本社会の下、熱いまなざしで創造的な絵画表現に挑んだ若い画家たち。その志は繋がり拡大されて、結成から65年経った現在に息づいています。

ケラ美術のように、弊ギャラリーもあらゆる人が繋がり拡大するよう、文化交流の発展を目指していきたいと願っています。開廊10周年の節目にケラ美術の魅力をご紹介させて頂けることに感謝申し上げます。

ケラ美術とは

前衛美術「ケラ美術協会」は、当時の日本画画壇の封建的な体質に不満を持ち、自由で創造的な絵画表現を求めて、1959年（'64年解散）に結成されました。「ケラ（Cella）」とはギリシア語では「細胞」や「単位」を意味し、「細胞が分裂し拡大するようにあらゆる人に賛同されるように」と願いが込められています。

結成メンバーは、京都市立美術大学（現・京都市立芸術大学）の日本画科出身12人と京都学芸大学（現・京都教育大学）出身の１人計13人です。野村久之先生はその中心的な存在でした。

野村久之　京都市立美術大学（現京都市芸大）卒業
　　1959-64　京都北白川美術村にて活動　ケラ美術協会結成
川嶋　渉　1989　京都精華大学卒業
　　日展特選、日展審査員　京都市立芸術大学教授
藤岡雅人　1986　京都精華大学日本画科卒業
　　青垣2001年日本画展大賞、東京セントラル日本画大賞展佳作　尖展
山本俊夫　1959生　京都市立芸術大学大学院（日本画専攻）修了
　　1990年　青垣2001年日本画賞展 優秀賞
　　2005年　文化庁平成16年度買上優秀作品展
坂爪厚生　1941　群馬県生　京都大学工学部卒業
　　京展須田賞　クラコフ国際版画トリエンナーレ作品買上げ
　　シーベニク現代日本版画展（クロアチア）

野村久之「チョウのいる風景」

講演会「ケラ美術について」：４月14日（日）２：00～３：30PM
講師：平井昌一　関西大学教授
場所：ギャラリー Create洛（２階）無料　参加者50人まで

近代洋画の重鎮―日本独自の洋画発展に捧げた人生

黒田重太郎遺作展

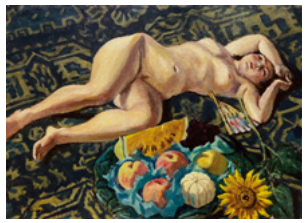
と　き／３月23日（土）～５月４日（土）10：30AM～６：00PM
ところ／星野画廊（毎週月曜と3/31、4/21休廊）
京都市東山区神宮道三条上ル　☎075-771-3670

「不老長春」1938（昭和13）年
油彩10号

明治後期、鹿子木孟郎と浅井忠に師事した後、大正期２度にわたる欧州留学後、西欧の新思潮を活かした作品を二科展に発表。数々の執筆により西洋近代絵画の動向を日本に紹介した啓蒙活動。関西美術院教授、京都美術専門学校（現京都市芸大）教授としての活動、大阪における信濃橋洋画研究所などの開設と指導。洋画界の先達としてのこうした黒田の活動は我が国近代洋画の発展を語る上で欠かすことができない。一方で、黒田が独自に目指した日本固有の風土に根付いた油絵の確立とは、どのようなものであったのか。

「多福多寿多男子」1942（昭和17）年
第29回二科展　油彩20号

「平安春色」1939（昭和14）年
油彩10号



「憩ひ」1951（昭和26）年
第５回二紀展　油彩20号

「廣澤夕陽」1965（昭和40）年
第19回二紀展　油彩30号

浅井忠以来の京都洋画の発展史を発掘してきた星野画廊ではこれまで黒田の隠れた名作の収集に力を注いできた。ようやくその初期から晩年に亘る画廊収集の油絵作品81点を揃えることができるようになった。こうした作品を」一望することで、これまで見過ごされてきた黒田芸術の真実美を実感していただきたい。的確な構図とデッサン力、強固なマチエールと豊富な色彩。画廊活動50年の末に今ようやく辿りついた黒田重太郎の真価、日本固有の美の世界を紹介する。（会期中に出品作を一部展示替えします）

前期：３月23日（土）～４月13日（土）（毎週月曜日と３/31休廊）
後期：４月16日（火）～５月４日（土）（毎週月曜日と４/21休廊）

展覧会記念図録：B5 判48頁
作品図版84点オールカラー　頒価：1500円（税込）

パリ ポンピドゥーセンター

キュビスム展―美の革命―

と　き／３月20日（水）～７月７日（日）10：00AM～６：00PM
ところ／京都市京セラ美術館（祝日と振替休日以外の月曜休館）
京都市左京区岡崎公園内　☎075-771-4334

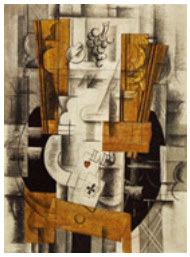
20世紀の初頭、パブロ・ピカソとジョルジュ・ブラックにより生み出されたキュビスムは、西洋美術にかつてない変革をもたらした。それまで西洋絵画の伝統的な技法であった遠近法や陰影法による空間表現から脱却し、幾何学的な形によって画面を構成する試みは、絵画を現実の再現とみなすルネサンス以来の常識から画家たちを解放したのである。また絵画や彫刻の表現を根本から変えることによって、抽象芸術やダダ、シュルレアリスムへといたる道も開いた。慣習的な美に果敢に挑み、視覚表現に新たな可能性を開いたキュビスムは、パリに集う若い芸術家たちに大きな衝撃を与えた。そして、装飾・デザインや建築、舞台美術を含む様々な分野で瞬く間に世界中に広まり、それ以後の芸術の多様な展開に決定的な影響を及ぼしている。

ロベール・ドローネー《パリ市》
1910-1912年
©Centre Pompidou, MNAM-CCI/Georges Mequerditchianv/Dist. RMN-GP

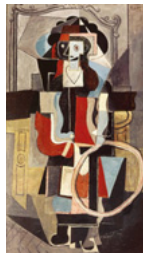
フェルナン・レジェ《タグボートの甲板》
1920年
（Legs de Baronne Eva Gourgaud, 1965）

本展では、世界屈指の近現代美術コレクションを誇るパリのポンピドゥーセンターの所蔵品から、キュビスムの歴史を語る上で欠くことのできない貴重な作品が多数来日し、そのうち50点以上が日本初出品である。20世紀美術の真の出発点となったキュビスムの豊かな展開とダイナミズムを、主要作家約40人による絵画を中心に、彫刻、素描、版画、映像、資料など約140点を通して紹介する。日本でキュビスムを正面から取り上げる本格的な展覧会はおよそ50年ぶりのこと。

アメデオ・モディリアーニ
《女性の頭部》
（1912年/Achat, 1949）



ジョルジュ・ブラック
《果物皿とトランプ》
1913年初頭
Don de Paul Rosenberg, 1947



パブロ・ピカソ
《輪を持つ少女》
1919年
©2023-Sussession Pablo Picasso-BCF（JAPAN）
©Centre Pompidou,MNAM-CCI/Philippe Migeat/Dist.RMN-GP

〔今月の展覧会より〕

時代の証言者
MARC RIBOUD展

と　き／２月18日（日）～５月26日（日）10：00AM～６：00PM
ところ／何必館・京都現代美術館（月曜休館　但し4/29、5/6は開館）
京都市東山区祇園町北側271　☎075-525-1311

マルク・リブー（1923～2016）は、フランスに生まれ、1950年代から世界中で精力的な活動を続けた、現代を代表するフォトジャーナリストです。写真家集団「マグナム」の創始者、アンリ・カルティエ＝ブレッソンやロバート・キャパらの同志であり、50年代のアフリカ独立運動、60年代のベトナム戦争など激動の時代に立会い、西側の写真家として初めて中国の取材にも成功しました。その作品は、米誌「N.Yタイムズ」「ライフ」、英誌「タイムズ」、仏誌「フィガロ」、独誌「シュテルン」、日本の新聞・雑誌など、世界各国の紙面を飾ってきました。

彼は一貫して、自分から興味を持った場所を取材するために長期間滞在し、混沌とした現実から、ひとつの秩序ある瞬間を切り取ってきました。本展は、マルク・リブーの1950年代から半世紀にわたり撮影された作品の中から厳選したオリジナルプリント約60点を展覧いたします。是非ご高覧下さい。

○記念出版『マルク・リブー写真集』　3,500円　　www.kahitsukan.or.jp　　主催／公益財団法人 京都現代美術財団

「ジャン・ローズ、ワシントンD.C.」1967年

「アヌーク・
グランベール、パリ」
1991年

「ウィンストン・
チャーチル、イギリス」
1954年

「エッフェル塔の
ペンキ工、パリ」
1953年

〔新入会画廊紹介〕

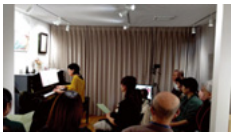
アートスポット櫻奏（サクラソウ）
Gallery ＆ Music Studio　Art Spoto Sakurasou

所 在 地：〒605－0817
京都市東山区弓矢町55－10
（大和大路八坂通り東入下ル）
Ｍｏｂｉｌｅ：090-3945-7492
Ｆ Ａ Ｘ：075-705-2476
Ｅ-ｍａｉｌ：nanairo.sakurasou@gmail.com
Ｕ Ｒ Ｌ：http://sakurasou-nanairo.com
代 表 者：立松佐喜子
画廊区分：貸・企画画廊

営業時間：10：30～19：00
定 休 日：月曜日
★使用時間：展示＝基本１日６時間
（要相談）
スタジオ使用＝基本単位２時間
★使用料金：展示＝基本３日間25,000円
（使用期間により要相談）
スタジオ＝練習…２時間3,000円
コンサート…４時間9,000円・６時間12,000円

東山区建仁寺南の弓矢町の隠れ家＝ギャラリー＆スタジオ「アートスポット櫻奏」は、左京区松ヶ崎の「なないろのふうせん音楽教室」主宰者の立松佐喜子（ピアニスト・ピアノ講師）が代表となり開設しました。立松佐喜子は、京都市生涯学習市民フォーラム加盟団体「音楽のおもちゃ箱」（施設などへの出張コンサートやチャリティコンサート約300回開催）も主宰しております。「櫻」は「木」に「嬰」＝まとう・とりまく・音楽記号。そして、奏でる。つまり、木（古家・楽器）を取り巻き奏でる。美術作品は、「色を奏でる」とも言われますが、「櫻奏」では、人間の癒しとなる「色と音を奏でる」独自のアート空間が可能です。

展示会では、ご希望で演奏家によるコンサートを提供させていただきます。勿論、作家さん関係のコンサートも可能です。



コンサートでは、美術作品に囲まれたコンサート（ご希望でライブ配信も可能）が出来ます。また、新進作家さん、新進演奏家さんを応援します。特典については、是非、ご相談下さい。ご活躍中の作家さんの展示会は企画展とし、出来るだけご協力させていただきます。

常設展では、活躍中の日本画・ろうけつ染め作家の作品を展示しております。

ただ、オーナーが音楽教室の仕事も兼ねていますので（櫻奏でもピアノをお教えします）、ご観覧・ご相談ご希望の方は、予めご連絡いただけますと有難いです。是非、お気軽に一度お電話かメールをお願いいたします。

会場 ＼ 日曜	1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日	8 月	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火	5/1 水	
企 絵草子 東山区新門前通東山西 551-9137	浮世絵・木版画。新版画常設																															
企 貸 延寿堂ギャラリーソフォラ 中京区二条寺町東入 211-5552	瀬津純司 展（陶） （木曜休廊）																		展示替えの為、臨時休業		久保裕子×津坂陽介（ガラス） （木曜休廊）											→5/7
企 御池画廊 北区小山北上総町20-2 492-3083	二人展 生駒泰充・藤木康成						洋画・日本画常設展 （土日祝休廊）																									
企 ビニールテープ(旧後素堂) 中京区新町丸太町下ル 231-0938	企画展開催予定																															
企 画廊たづ 東山区神宮道三条西入ル 771-8225	日本画常設展（日祝休廊）																															
貸 ぎおんギャラリー八坂 東山区祇園町南側 525-1717		たけの世界展 河村武明						着物展示会 京のきもの嵯峨宗 住田宗明						リユース着物 着物リメイク展 マイKimono 永井 舞						手づくり工房 クラフト作品展 浪漫堂　谷内恵美							染め 彩々 藍染	→5/5
貸 企 喜聞堂アートスペース余花庵 中京区寺町通御池上ル 212-9793		ぽむ漫画展2024						岡本英樹 個展 フォーヴィスムと 和の調和Ⅲ						吉島伸一鍋島緞通 株式会社 本家鍋島緞通展						喜聞堂 屏風絵・古美術常設展												
貸 企 ギャラリーM 中京区蛸薬師高倉西 221-0979	京の桜と船旅展 （松本祐佳）																															
貸 ギャラリー花友じゅらくだい 上京区智恵光院中立売上ル 451-6005	ロシア・ウクライナ出身画家作品展 （貸画廊受付中）																															
貸 ギャラリー祇園小舎 東山区四条通縄手東入 551-3828						第35回 染と織 in祇園					一佑会能面展									京に集う ボタニカルアート 五人展			絵画と工芸三人展 パートドヴェールと 水彩画と草木染め						中浜稔と その仲間 達展	→5/5
貸 ギャラリー吉象堂 中京区三条柳馬場東 221-3955				池田三郎の 世界展																	第３回 島津画友会展								第25回 宮本絵画教室作品展		70th 青美 春季展	→5/5
貸 企 ギャラリーCreate洛 中京区丸太町通堺町角 708-7898			山尾才絵画展 －薫風の叙情－ （洋画）							開廊10周年記念 自由と想像を求めたケラ美術の情熱 展														田中利一個展 －心に響くもの－ （日本画）						正垣 雅子 個展	→5/5
貸 企 ギャラリー恵風 1F 左京区丸太町東大路東入 771-1011		野嶋 革 展（銅版画）									寄神宗美 展（陶芸） （月曜休廊）												陳 憶誠 展（木版画）									
貸 企 ギャラリー恵風 2F 左京区丸太町東大路東入 771-1011		辻田恭子 展（立体）									寄神千恵子 展（陶芸） （月曜休廊）												吉田真紀子 展 （銅版画）									
貸 企 ギャラリー胡々湾 東山区神宮道三条上ル 090-8367-1460		竹内京子日本画展							木下八千代個展 ～癒しとセルフパワーを求めて～							京都大学写真部春期展 「息吹」																

会場 ＼ 日曜	1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日	8 月	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火	5/1 水	
貸 ギャラリー佐野 中京区寺町蛸薬師西北角 221-2767	貸ギャラリー受付中																															
企 ギャラリー三条祇園 中京区寺町通御池上ル 221-6401																																
企 ギャラリー白川 東山安井東一筋目南 532-2616																							アメリカンアートコレクション展 （月・火休廊）									→5/22
貸 ギャラリー翔 左京区北山通下鴨中通東 724-8154		あづまはちろー 水彩画展							第９回アトリエ喜心 絵画教室作品展							田中絣衣料店 展覧会 （洋服 他）							シモちゃすけ 個展 （絵画・ポストカード 他）										
貸 企 ギャラリー16 東山区三条通白川橋西入上ル 751-9238		岸田良子展「TARTANS」 （月曜休廊）12：00～18：00														内田聖良展「バーチャル供養講」 （月曜休廊）12：00～18：00														立花光 展 「壁抜け」	→5/11
貸 ギャラリーSpace妙 左京区松ヶ崎堀町1-1 090-6605-0656	貸ギャラリー受付中																															
企 ギャラリー創 中京区河原町御池上ル 251-0522	日本画・洋画・古書画常設展																															
企 貸 ギャラリーTAJIRO 東山区縄手通新橋下ル 0774-27-1733	貸ギャラリー受付中																															
企 ギャラリー鉄齋堂 東山区新門前東山西 531-6164	常設展																															
貸 ギャラリー富小路 下京区富小路綾小路下ル 090-7095-0576													SHINE ART展																			
企 ギャラリーなかむら 中京区姉小路河原町東 231-6632									日花治子展（立体造形） （月曜休廊）																							

【他所で見たい展覧会】

「空間を彩る屏風－広がる大画面」展：２月20日(火)～４月14日(日)　細見美術館（京都市左京区岡崎最勝寺町6-3　☎075-752-5555）
「進撃の巨匠、竹内栖鳳と弟子たち」展：１月18日(木)～４月７日(月)　福田美術館（京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-16　☎075-863-0606）
「頂相（ちんそう）、祖師たちの絵姿」展：３月17日(日)～５月12日(日)　相国寺承天閣美術館（京都市上京区今出川烏丸東入　☎075-241-0423）
「蘭花譜と大山崎山荘－大大阪時代を生きた男の情熱」展：３月９日(土)～５月12日(日)　アサヒグループ大山崎山荘美術館（京都府乙訓郡大山崎町銭原5-3　☎075-957-3123）
「モネ、連作の情景」展：２月10日(月)～５月６日(月)　大阪中之島美術館（大阪市北区中之島4-3-1　☎06-6479-0550）
「没後50年・福田平八郎」展：３月９日(土)～５月６日(日)　大阪中之島美術館（大阪市北区中之島4-3-1　☎06-6479-0550）
「キース・ヘリング展」：４月27日(土)～６月23日(日)　兵庫県立美術館ギャラリー棟３Fギャラリー（神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1☎　078-262-0905）
「森田子龍とスーラージュ」展：３月16日(土)～５月19日(日)　兵庫県立美術館（神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1　☎078-262-0905）
「特別展・古代メキシコ、マヤ、アステカ、テオティワカン」展：２月６日(火)～５月６日(祝)　国立国際美術館（大阪市北区中之島4-2-55　☎06-6447-4680）
「洋画の青春－明治期・三重の若きが形」展：１月27日(土)～４月14日(日)　三重県立美術館（三重県津市大谷町2　☎059-227-2100）
「幕末・明治手彩色写真の美」：３月30日(土)～５月19日(日)　神戸市立博物館（神戸市中央区京町24　☎078-391-0035）

会場		1月	2火	3水	4木	5金	6土	7日	8月	9火	10水	11木	12金	13土	14日	15月	16火	17水	18木	19金	20土	21日	22月	23火	24水	25木	26金	27土	28日	29月	30火	5/1水	
企 ギャラリー白梅園 北区北野上白梅町63 461-0427		白崎信子ガラス作品常設展																															
貸 企 ギャラリーヒルゲート 中京区寺町三条上ル 231-3702	1F		登紀子倶楽部ギャラリー展（加藤登紀子と小西熙・田中直子・鳥海太郎 他）						桜井絵月 展（ミクストメディア）					古野恵美子 展（ミクストメディア）							顕川麻美子 日本画展 ～花 そして 景～（日本画）							4人の現代日本の版画家－中林忠良・野田哲也・星野美智子・柳澤紀子		→5/12
	2F								衣川雅之 はなのえてん（水彩）					甲斐扶佐義 写真展 路上のパリ（写真）（KYOTOGRAPHIE KG+ 参加企画）（月曜休廊）																	
	奥庭空間	葛本康彰 個展 流れの途中、その名残り																															→6/23
企 ギャラリー美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761-9710		日本画常設展（月曜定休）																															
貸 企 ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 221-0117	3F		岡本祥吾（立体）														中西文子（テキスタイルコラージュ）															
	4F									渡部慶二郎（メタルワーク）							渡部慶二郎（メタルワーク）							川添洋司（木工）						川添洋司（木工）	→5/7
	5F																														裵貞順（ファイバー）	→5/7
貸 企 ギャラリー八坂茶閑 東山区八坂通り小松町565 080-1155-0710		「大村美玲 日本画展舞妓、そして…」4月30日（火）～5月5日（日）に開催します																															
企 貸 ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348			笠井季美展 心の彩						Surrealism by CERAMICS							亜舎・曽木朝子展（月曜休廊）～糸染めから始まる衣作り～														工藤和彦うつわ展	→5/19
企 貸 ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700		「坂本龍馬と酢屋」常設展																															
企 ギャルリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110		常設展（日・水休廊）																															
企 ギャルリー宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321					「自由の洞窟」西村一成新作展 13：00～18：00（月曜休廊）																											
企 貸 ギャルリー百音（もね） 左京区岡崎神宮道東側 708-2138			春の謝恩セール（うつわ・西洋食器・アンティーク・絵画など）（月曜休廊・祝日は営業、翌火曜休廊）																													→5/6
貸 企 京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435		貸画廊受付中																															
企 京都芸大ギャラリーアクア 下京区塩小路高倉東入 253-1509																																	
企 京都市立芸術大学芸術資料館 下京区塩小路高倉東入 585-2008							京都芸大〈はじめて〉物語「第1期カイセン始動ス！」（水曜休館）																								→6/2
企 京都市学校歴史博物館 下京区御幸町通仏光寺下ル 344-1305					“春らんまん”京の学校に咲く花々の絵（水曜休館）																											→6/16
会場	日曜	1月	2火	3水	4木	5金	6土	7日	8月	9火	10水	11木	12金	13土	14日	15月	16火	17水	18木	19金	20土	21日	22月	23火	24水	25木	26金	27土	28日	29月	30火	5/1水	
貸 企 京都写真美術館 東山区神宮道三条上ル 746-2931	1F「月」	清永安雄　写真展																															
	2F「花」		吉田正 写真展「feelings 夏が逝く日」														WOMB　10th Anniversary														青木弘写真展「泥まみれのメッセージ」	→5/12
企 京都陶磁器会館 東山区東大路五条上ル 541-1102	1F																																
	2F	日吉開窯110年～伝統を今へ～				レオナルド・バルトリーニ／沢田一葉展（仮）（木曜休館）														工芸職人の会　my sincerity（仮）（木曜休館）												
貸 企 京都万華鏡ミュージアムアートスペース 中京区姉小路東洞院東入 254-7902				Gruppo C.O.N.V.I.D ＋（プラス）日本人アーティスト							オプティム　アルト写真展 ユートピアン・ライト（15日休館）													開催期間・開催時間は変更になる可能性があります。最新の情報は当館HPにてご確認ください。								
貸 企 堺町画廊 中京区堺町御池下ル 213-3636						NEKKOカフェとBOOKフェア							マトマイニのフェルトアニマル展																			
貸 里見有清堂 中京区堺町三条上ル 221-5423		閉廊																															
企 蔵丘洞画廊 中京区御池寺町東入 255-2232		閉廊																															
企 大雅堂 東大路通祇園上ル 541-7388		嚆矢祭－其之百三十－ 土田康彦 ヴェネツィアン・ガラス展 桜の記憶							常設展（日曜休廊）																			休廊				→5/6
企 玉山名史刀 東山区三条通神宮道西入 708-8210		常設展／美術刀剣・刀装具・兜・鎧など武具全般																															
企 梅軒画廊 中京区烏丸四条上ル 221-3510		日本画・洋画常設展														NIHONGA佳趣画集 出展作家 岡本航・高資婷・中村美希 松平莉奈・森萌衣・山本有彩																
企 星野画廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670		日本独自の洋画発展に生涯を捧げた「黒田重太郎遺作展」毎月曜と4/21日（日）休廊																															→5/4

〔京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中〕1年間￥2,000円です。毎月末にお手許に届けられます。申込みは星野画廊（☎771－3670）まで振込用紙をご請求ください。

〖短信〗京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事で掲載している作品の画像は、当画廊のホームページ（http://www.kyoto-art.net/）では、すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

発行：京都画廊連合会　京都市中京区高倉三条上ル　京都府京都文化博物館内（☎222－0895）http://www.kyoto-art.net/